

平成25年度泉大津市外部評価 評価結果

番号	事業名	評価結果	評価コメント
1	交通安全教育・啓発事業	B 見直し	<p>○高齢層、若年層など事業のターゲットに対してサービスの提供内容を明確に分けることを検討する必要がある。</p> <p>○交通安全の啓発を広く市民に伝え、共感を得て、市民全体で運動を盛り上げていくことが大切であることから、戦略的に広報をする必要がある。市民に伝わっていないのはもったいない。</p> <p>○漫然とPDCAサイクルを回すのではなく、チェックと改善をきっちりと担当で行う必要がある。</p> <p>○警察、交通安全協会と連携をとりつつ、それぞれの役割を明確にしながら事業を効率的に進める必要がある。</p>
2	文化フォーラム事業	B 見直し	<p>○当事業は、条例に基づいた文化芸術振興計画という泉大津市の政策の一環として位置づけられた事業で、きっかけ作りという意味で一定の役割を果たしている。講演をして終わりなど、一過性のイベントで終わることなく、次につながるように他部局との連携を図って、計画が一つのつながりを持つようにする必要がある。</p> <p>○若年層のニーズを汲み上げる必要がある。</p> <p>○大きなお金を使う分、一人でも多くの方に足を運んでもらえる戦略的な広報を行う必要がある。</p>
3	包括連携大学交流事業 (シニアラーニングアップ事業)	B 見直し	<p>○個人の便益になっている。受講料の補助は違和感がある。</p> <p>○少なくとも泉大津市へ還元(フィードバック)してもらい仕組みが必要である。</p> <p>○アンケートを取ってきっちりと事業を精査し、それをふまえ、受益者負担、対象者の拡大(30歳以上など)など、見直しが必要である。</p> <p>○併せて、他の包括連携メニューの検討が必要である。学生と地域の方が一緒になってひとつの目標に向けて取り組めるようなメニュー、仕組みを作ってはどうか。例)交通安全マップづくりなど。</p>
4	認可外保育施設健康診断助成事業	C 休止・廃止	<p>○利用率が極端に低い。健康診断への助成のあり方については、再検討を要する。</p> <p>○事業の趣旨を否定するわけではないが、1、2年後にできる新しい法律を待ち、事業を再構築して補助の枠組みを考えるのが望ましいのではないかと。</p>
5	住基・印鑑登録事務事業	A 継続	<p>○基礎自治体の窓口行政の根幹をなす業務である。個人情報保護を重視した事業の継続が望まれる。</p> <p>○利便性の向上などサービスの質については、市民目線で評価し、効果的な運用を図っていく必要がある。</p>